

ポスター発表 発表区分による一覧表

プログラムの編成作業は毎年、大会企画・将来構想委員会が担当しております。今大会は新たな試みとしてポスター申込時に選択していただいた発表区分や分類群を問わずに完全にランダムな順番で配置いたしました。これは、種や分野の垣根を超えたコミュニケーションの促進や哺乳類学の発展を期待したのですが、以下に発表区分による一覧表を作成しましたので、参考にしてください。

大会終了後には、今大会に関するアンケートを実施する予定ですので、本取組に対しても忌憚のない意見をお待ちしております。

ポスター番号 筆頭発表者 所属 タイトルを示しています。

<分類>

P006 水野 竣介 東邦大学理学部
有袋類、ハイイロジネズミオポッサムの頭蓋形成分子基盤の探索

<進化>

P101 Dangerfield Emma 筑波大学生命地球科学研究群
島嶼化のアナグマたち：前肢の機能形態に基づく日本列島に生息したアナグマ属の絶滅種と現生種の差異

P158 平口 裕梨 東京大学大学院農学生命科学科
齧歯類における頭骨進化戦略の機能形態学的検討

P170 田中 晴 日本大学大学院生物資源科学研究科
染色体上の核リボソーム RNA 遺伝子座の様態と塩基配列の保存性の関係

<系統地理>

P003 川本 芳 日本獣医生命科学大学
中部地方のニホンカモシカ個体群の系統地理的特徴

P016 渡辺 鈴大 北海道大学大学院理学院
ミトコンドリア DNA 解析によるステップケナガイタチとヨーロッパケナガイタチの系統地理

P033 小松 奈菜 北海道大学大学院理学院
ddRAD-seq 法を用いたハクビシン日本集団の遺伝的地域変異と分布拡大の歴史

P034 秋山 礼 東京大学農学生命科学研究科
日本産ユビナガコウモリの集団遺伝構造とその形成要因について

P037 木下 豪太 富山大学
第四紀の気候変動による北東アジア島嶼の陸橋形成とクロテンの集団史

P064 鳥巢 捷斗 北海道大学大学院環境科学院
全ゲノム SNP およびミトコンドリア DNA 配列に基づくジャコウネズミの遺伝的構造と集団史の解明

P071 西田 義憲 北海道大学大学院理学研究院
ユーラシア大陸西部に生息するヨーロッパケナガイタチにおける主要組織適合遺伝子複合体 (MHC) クラス II に含まれる DRB 遺伝子の多様性

- P136 土橋 健太郎 北海道大学大学院理学院
ddRad-seq 解析によるシベリアイタチの地理的変異
- P149 今井 啓之 山口大学共同獣医学部
離島：見島産ヒミズの形態的特徴を基盤する遺伝的背景の解析
- P165 布目 三夫 岡山理科大学
ニホンカモシカ動物園飼育個体の毛色関連遺伝子 *Mc1r* における多型解析
- P166 安井 萌実 岐阜大学応用生物科学部
GIS 技術を用いたホンドオコジヨの生息分布域推定

<形態>

- P022 高山 七星 宇都宮大学院
シカ類の進化における鎖骨下筋の機能変化について
- P028 児矢野 愛海 宇都宮大学大学院地域創生科学研究科
八溝地域におけるイノシシ頭骨の成長様式の解析
- P046 内田 阜陽 長崎大学水産学部
長崎近海のスナメリ (*Neophocaena asiaorientalis*) の外部形態の相対成長
- P052 浅岡 秀輔 宇都宮大学大学院
ゴマフアザラシの腕神経叢およびその分枝に関する肉眼解剖学的研究
- P076 本堂 親紹 東京大学大学院
日本産イノシシと家畜ブタの頭蓋骨における成長様式の比較
- P082 赤羽 虎太郎 宇都宮大学院地域創生科学研究科
食肉目動物の尾における比較解剖学的研究
- P083 丸山 啓志 千葉県立中央博物館
非侵襲的手法 (3D スキャンと X 線 CT スキャン) と、侵襲的手法 (解剖) を基にしたスジイルカ *Stenella coeruleoalba* 漂着個体に見られた左上顎吻部の欠損の記載と検討
- P085 紺野 弘毅 株式会社 池田動物園
コウベモグラ *Mogera wogura* の陰茎亀頭と陰核亀頭の外部形態 (予報)
- P086 菊地 陽哉 宇都宮大学大学院
ハクビシンの前肢における解剖学的研究
- P088 居樹 希実 岐阜大学自然科学技術研究科
日本産偶蹄類 3 種における CT スキャン画像による蹄の形態学的特徴
- P094 野田 昌裕 京都大学大学院人間・環境学研究科
フォトグラメトリー 3D モデルを用いたニホンジカ枝角形態の地域集団間比較
- P098 八神 未千弘 京都大学ヒト行動進化研究センター
テナガザル科における内喉頭筋群の 3D 形態モデルを用いた比較
- P120 伊藤 海 東京大学大学院新領域創成科学研究科
センザンコウの鼻の中の形態進化
- P137 山内 貴義 岩手大学
組織学的解析による本州北部に生息する野生アカネズミの繁殖期と鋤鼻系機能性の特定

- P139 甲能 純子 東京大学大学院新領域創成科学研究科
CT 画像解析による飼育下のセイウチの上顎犬歯抜歯の歯牙再生への影響について
- P140 中山 好乃 国立大学法人琉球大学
ケナガネズミ *Diplothrix legata* における外部形態の相対成長
- P146 和田 純奈 三重大学生物資源学研究科生物圏生命科学専攻
ヌートリア *Myocastor coypus* における鋤鼻器の形態的特徴
- P173 畑瀬 淳 広島市安佐動物公園
Trunk に障害あるサバンナゾウ “Rhandzekile” はどうやって水を飲んでいるか

<生態>

- P012 佐藤 巧庸 慶應義塾大学文学研究科
兵庫県産ニホンジカの季節的食性変化-後臼歯の微細摩耗痕（マイクロウェア）分析に基づく検討-
- P014 久山 高平 三重大学大学院生物資源学研究科
行動圏内に含まれる植生・土地利用がニホンジカ肉の栄養特性に与える影響
- P020 BAEK SEUNGYUN 東京農工大学
ツキノワグマによる断片化された景観におけるリスクテイク行動の季節間の違いの評価
- P029 牛木 健太郎 東京農工大学大学院
カメラトラップが中型食肉目動物の行動に与える影響
- P030 福島 佳恵 東京農業大学大学院
都市緑地における食肉目の住宅事情
- P036 竹腰 直紀 東京農業大学大学院
オスの野生ツキノワグマにおける行動とテストステロンとの関係性の検証
- P040 菅野 遥登 福島大学共生システム理工学研究科
福島県における野生動物のロードキル個体の放射性セシウム蓄積評価
- P041 宇野 裕之 国立大学法人東京農工大学
地域スケールにおけるイノシシの掘り起こし痕跡の密度指標としての有効性
- P042 鬼崎 華 東京大学大学院新領域創成科学研究科
ニホンジカの歯石を対象とした植物珪酸体分析の試み
- P044 穂高 響 鹿児島大学大学院農林水産学研究科
カメラトラップ法によるアマミノクロウサギの日周活動
- P045 南野 一博 北海道立総合研究機構林業試験場
北海道蘭越町の4年生カラマツ造林地で見つかったエゾヤチネズミの斃死体
- P047 山村 織生 北海道大学水産科学研究院
北海道日本海沿岸におけるトド漁業被害額の変動要因
- P058 吉田 海人 山形大学農学部食糧生命環境学科
中型食肉目の捕獲へのドロップネットの適用可能性：罨に対する応答実験

- P060 束田 優介 信州大学大学院総合理工学研究科
北アルプス北部地域におけるニホンジカの季節行動圏の生息地選択
- P061 栗原 望 宇都宮大学農学部
仙台湾から東京湾に棲息するスナメリの食性について
- P062 兼 祐翔 東京大学大学院
DNA メチル化率に基づくクビワオオコウモリの年齢推定
- P063 久保田 明人 東京農業大学大学院
ボルネオ熱帯雨林における野生動物によるヌタ場利用
- P065 梶原 涼 岩手大学大学院総合科学研究科
滝沢農場の水田および果樹園に生息するネズミ類の種構成および個体数密度の季節変化
- P067 斎藤 昌幸 山形大学
中央アルプスの高山帯におけるアカギツネとニホンテンの食性：40年前との比較
- P068 八木 原風 三重大学研究基盤推進機構鯨類研究センター
御蔵島周辺海域に定住するミナミハンドウイルカの出産期
- P070 山澤 泰 富山大学大学院理工学研究科
カメラトラップによる、アズマモグラのトンネルを利用するヒミズの記録～「トンネルカメラトラップ法」の確立に向けて～
- P079 森口 千晴 東京農工大学農学府農学専攻
同所的に生息するニホンジカとニホンカモシカの生態的ニッチの比較
- P080 小見山 萌子 東京農業大学農学部生物資源開発学科
西表島におけるリュウキュウイノシシのヌタ場利用に関する研究
- P081 加藤 卓也 日本獣医生命科学大学
群馬県嬬恋村に夏期滞在するニホンジカのNSD解析に基づく季節移動パターン
- P084 大賀 優斗 琉球大学理学部海洋自然科学科
ルートセンサス法を用いた沖縄島北部におけるケナガネズミの出現傾向の年間比較
- P087 佐藤 喜和 酪農学園大学
ヒグマの背擦りの複雑さは何によって決まるのか？
- P090 塚田 秋葉 三重大学大学院生物資源学研究科
スジイルカ *Stenella coeruleoalba* の炭素・窒素安定同位体比分析における組織代替利用の可能性
- P092 佐藤 快 山形大学農学部食料生命環境学科
冷温帯における積雪状況に応じたニホンノウサギの採餌行動
- P093 平川 浩文 無所属
GPS データ解析システム TimelineAnalyser の紹介
- P095 古山 歩 三重大学大学院生物資源学研究科
スナメリ *Neophocaena asiaorientalis* の胃内容物分析における深層学習を利用した魚類耳石の種判別の試み
- P096 Taylor Fay University of Kyoto
芦生の原生林における森林タイプと天候がコウモリの活動に及ぼす影響

- P099 秦 彩夏 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構
農作物を食べるニホンジカは母も子も体が大きくなる？世代を超えた影響の検討
- P102 澤田 集一郎 東京農工大学大学院農学府
京都府及び滋賀県におけるホンドテン (*Martes melampus melampus*) の春季の食性
- P103 北 夕紀 東海大学生物学部海洋生物科学科
北海道室蘭市噴火湾に来遊するカマイルカ白変個体の観察
- P105 森 智基 岐阜大学応用生物科学部
同所的に生息するカモシカとニホンジカの時間的・空間的相互作用
- P106 三國 和輝 兵庫県立大学大学院
近畿北部西側個体群のツキノワグマが利用する食物を生産する樹木の現存量分布推定
- P108 阿部 七海 北海道大学水産科学院
モネロン島におけるトド *Eumetopias jubatus* の上陸モニタリング
- P111 海老原 寛 株式会社 野生動物保護管理事務所
群れサイズが同じニホンザル隣接群の行動圏利用の比較
- P113 小山 里奈 京都大学
首輪カメラで植生を捉える：機械学習を用いたモウコガゼルが生息環境評価
- P118 照内 歩 帯広畜産大学
齧歯類の巣と節足動物との関係－ヒメネズミの繁殖活動による節足動物の生息場所の創出－
- P119 瀧井 暁子 信州大学
山麓部におけるツキノワグマの季節的な環境利用パターン
- P124 花見 銀河 琉球大学理学部海洋自然科学科
視覚と嗅覚どちらが重要？－オリオオコウモリの餌選択行動－
- P126 上田 莉帆 帯広畜産大学大学院畜産学研究科
キツネ用エキノコックス駆虫バイトの小規模面積散布における消費者の解明
- P127 柴山 理彩 四国自然史科学研究センター
世界農業遺産認定地域で維持される半自然草地における小型齧歯類の生息状況
- P128 牛来 麗奈 東京農業大学大学院地域環境科学研究科
福島県におけるツキノワグマ (*Ursus thibetanus*) の食性と採食物の ¹³⁷Cs 移行係数の季節変化
- P130 野中 咲葉 帯広畜産大学畜産学研究科
北海道のトドマツ優占針広混交林におけるエゾモモンガ *Pteromys volans orii* の食性：葉食性の季節変化の検討
- P132 七條 知哉 岐阜大学
局所的な環境要因に着目したイノシシの休息場所選択
- P133 ムラノ 千恵 弘前大学
積雪深がハタネズミの冬季繁殖率に及ぼす影響

- P138 栃木 香帆子 東京大学先端科学技術研究センター
カメラトラップデータの画像座標を用いた個体ベースの軌跡推定：10種の哺乳類で検証
- P141 長沼 知子 帯広畜産大学環境農学研究部門
ツキノワグマの繁殖期の行動と生息地利用
- P142 船津 沙月 岐阜大学大学院自然科学技術研究科
積雪深は同所的に生息するニホンジカとカモシカの冬期生息地利用にどのような影響をあたえるか
- P147 大沢 啓子 なし
埼玉県内におけるユビナガコウモリの「再発見」
- P148 清水 俊輔 帯広畜産大学大学院
種子の発芽においてタヌキの糞は味方なのか？
- P151 小林 峻 琉球大学
琉球大学千原キャンパスにおけるオリオオコウモリのねぐら利用の季節変化
- P152 木村 開人 帯広畜産大学大学院畜産学研究科
イエネコと在来種の日周活動の関係性
- P154 藤田 翔伍 東京農業大学
北多摩地域の都市公園におけるタヌキとネコの関係
- P155 栃本 大介 神戸市建設局防災課
六甲山系の広葉樹林における林床植生の回復にイノシシが及ぼす影響
- P157 浅利 裕伸 帯広畜産大学
オニグルミ種子の成熟過程とキタリスによる利用時期との関係
- P160 高田 幸作 東京農工大学大学院連合農学研究科
低緯度地域の山岳地帯に生息するオコジョの食性の季節変化
- P167 滝川 あかり 岩手大学大学院総合科学研究科
岩手県盛岡市雫石川の河畔林におけるツキノワグマの利用実態
- P168 山下 純平 山形大学大学院
ニホンジカによる植生改変と人為攪乱は相乗的に中大型哺乳類に恐れの景観を生み出す
- P171 中森 さつき 岐阜県立森林文化アカデミー
岐阜県北部におけるニホンジカの生息密度と低木の採食程度との関係
- P172 東 哲平 琉球大学大学院
沖縄島北部におけるケナガネズミによる巣箱利用の季節変化

<行動>

- P004 植田 彩容子 昭和大学富士山麓自然・生物研究所
富士山麓におけるアカギツネの繁殖事例
- P008 田中 雪 帯広畜産大学畜産学研究科
エゾモモンガ *Pteromys volans orii* の地上利用行動に関する基礎研究
- P013 伊藤 哲治 酪農学園大学
北海道占冠村におけるヒグマの GPS 行動追跡
- P018 藤谷 彰子 同志社大学生命医科学研究科

- GPS ロガーを用いたオリーブオコウモリの移動生態に関する基礎的研究-母親個体の夜間の採餌移動-
- P024 成瀬 光 東京農工大学農学府
仲間への危険伝達か？捕食者への信号か？ニホンジカの対捕食者行動の多様な機能
- P031 岸田 鈴央 岩手大学総合科学研究科
岩手県雫石町の御明神演習林におけるホンドテンの排糞環境
- P035 姜 兆文 株式会社 野生動物保護管理事務所
正味二乗移動量変位法と分類フローを用いたニホンジカの移動パターンの定量化
- P053 坂田 拓司 熊本野生生物研究会
オヒキコウモリ *Tadarida insignis* の飛翔速度試算 - 熊本城天守閣周辺を飛翔する個体 -
- P073 齋藤 恵 岩手大学大学院総合科学研究科
岩手県営運動公園における餌付けニホンリス (*Sciurus lis*) の食性
- P107 福永 健司 ASWAT
イタチ科 2 種の育児行動
- P110 岩田 汐央 明治大学大学院農学研究科農学専攻
飼育下バンドウイルカにおけるポートフェンダーへの接触行動とその吐き戻し行動抑制効果 ~ Environmental enrichment device の影響 ~
- P125 大西 尚樹 森林総合研究所
ホンドギツネによるツキノワグマの追尾行動
- P135 中島 彩季 株式会社 野生動物保護管理事務所
京都府丹後地域の人の生活圏周辺に生息するメスのツキノワグマの行動特性
- P144 竹ノ内 瑞月 宮崎大学大学院医学獣医学総合研究科
行動様式の違いに着目したロシアハタネズミの食糞行動の頻度
- P159 關 義和 玉川大学
神奈川県箱根町で観察されたニホンジカによる角齧り行動

<生理>

- P026 井上 元貴 岐阜大学
くくりわな捕獲時における止めさし工程の違いがニホンジカの捕獲ストレスに与える影響
- P056 西内 唯夏 同志社大学大学院生命医科学研究科
コウモリ類の年齢は硬組織の年輪に基づいて推定できるのか？

<分子生物>

- P104 廣瀬 雅恵 広島大学
広島県絶滅危惧 I 類ニホンリス (*Sciurus lis*) の分子系統解析およびモニタリング手法の開発
- P143 片山 雅史 国立環境研究所
イエネコ線維芽細胞由来の不死化細胞の樹立

<保全>

- P059 佐藤 雄大 徳島大学大学院社会産業理工学研究部
船舶レーダーはコウモリ類の飛翔をどこまで捕捉できるのか？
- P077 吉岡 憲成 株式会社 KANSO テクノス
大阪府能勢町における REST モデル適用によるアライグマの生息密度推定の
試み
- P100 藍原 有紀乃 信州大学大学院総合理工学研究科
上高地におけるニホンジカの利用実態
- P109 藤田 志歩 鹿児島大学
鹿児島県口永良部島における国内外来種ヤクシマザル (*Macaca fuscata yakui*) の生息状況
- P116 崎山 智樹 北海道大学大学院環境科学院
北海道の山岳域におけるキタナキウサギの分布変化

<保護管理>

- P002 中村 大輔 農業・食品産業技術総合研究機構
特定復興再生拠点区域周辺におけるアライグマの効率的捕獲に向けたマッ
プの作成
- P005 浅田 正彦 合同会社 AMAC
市町村鳥獣被害防止計画のイノシシに関する内容比較～実効性のある計画
づくりのために～
- P007 村上 隆広 ヤマザキ動物看護大学
市街地付近の緑地帯における中大型哺乳類相と季節変化
- P009 稲葉 史晃 株式会社 野生動物保護管理事務所
ニホンジカ侵入初期でのカメラ・痕跡調査によるシカ侵入エリアとポテン
シャルマップによるリスク評価
- P017 川田 うらら 岐阜大学応用生物科学部共同獣医学科
アライグマ透明帯 4(ZP) 遺伝子の塩基配列解読と種特異性評価
- P023 大室 智暉 合同会社東北野生動物保護管理センター
岩手県早池峰山周辺地域におけるニホンジカの森林植生への影響
- P025 林 耕太 山梨県森林総合研究所
ニホンジカ列車衝撃事故の発生要因の解明
- P048 白木 麗 岐阜大学大学院連合農学研究科
岐阜市における哺乳類 5 種のロードキル分析
- P049 幸田 良介 大阪府立環境農林水産総合研究所
自動撮影カメラによる野生動物モニタリングネットワークの構築：大阪で
の取組状況
- P050 海野 南 東京大学大学院
ロードキルデータを基にした状態空間モデルによる野生動物の時空間動態
- P051 中条 寧々 岐阜大学応用生物科学部共同獣医学科
アライグマ透明帯 2 (ZP2) 遺伝子の塩基配列解読と種特異性評価
- P054 饗場 木香 一般社団法人自然環境研究センター

- カモシカにおける REST 法を用いた生息密度推定の検討
- P057 豊川 春香 (株)野生動物保護管理事務所
ニホンザルの個体数調整が農耕地・市街地の利用頻度に与える影響
- P074 小笠原 すず 東京農工大学農学専攻自然環境保全学プログラム
群馬県北部におけるニホンジカの越冬地選択
- P075 小野 司 株式会社 野生動物保護管理事務所
ニホンジカ侵入初期におけるポテンシャルマップでみる生息状況調査結果
- P091 亀井 利活 北海道立総合研究機構エネルギー・環境・地質研究所
エゾシカ肉の肉質管理に向けた目標となる放血レベルの検討
- P097 林 航平 株式会社 野生動物保護管理事務所
ニホンザルの生息地選択は和歌山県の地域ごとにどのような違いがあるか？
- P115 小松 仁 福島県環境創造センター研究部
福島県内におけるイノシシの放射性セシウム濃度の長期モニタリング
- P121 後藤 光 岐阜大学応用生物科学部共同獣医学科
ヤクシカにおけるセメント質年輪法適用上の留意点
- P123 中村 秀次 NPO 法人 EnVision 環境保全事務所
札幌市のヒグマ市街地出没時に採取した体毛とフンの DNA による個体識別
- P134 羽布津 直人 東京農工大学農学専攻
ニホンジカ低密度地域における植生への影響評価手法の検討
- P145 池田 敬 信州大学農学部
伊吹山におけるニホンジカの行動圏と生息地利用
- P156 堀江 勇斗 岐阜大学大学院自然科学技術研究科
岐阜市における地域住民の自由行動ネコに対する意識
- P161 早稲田 宏一 NPO 法人 EnVision 環境保全事務所
出没時の現地調査から見てきた札幌市のヒグマの出没要因
- P163 福江 佑子 NPO 法人生物多様性研究所あーすわーむ
長野県における中・小型食肉目における有害捕獲の現状
- P169 木村 響 株式会社 野生動物保護管理事務所
YOLO を活用した野生動物管理のための汎用的画像認識 AI 開発

<被害対策>

- P010 逢坂 明紀 酪農学園大学
浜中町霧多布半島における区画追い出し法によるエゾシカの個体数推定と個体数調整の検討
- P011 堂山 宗一郎 農研機構
飼育ホンシュウジカの柵状障害物に対する跳躍能力
- P021 岩田 祐 株式会社 野生動物保護管理事務所
シカの捕獲の効果を短期に把握するための指標となる植物種の探索
- P027 田川 哲 島根県中山間地域研究センター
島根県におけるツキノワグマ大量出没時の捕獲地点の特徴
- P038 片桐 未結 岐阜大学応用生物科学部
自動車保険データを用いた野生動物車両衝突事故 (WVC) の発生位置分析

- P043 川島 直通 三重県林業研究所
三重県のスギ・ヒノキ植栽地における防護柵破損要因およびシカ被害発生要因
- P055 坂倉 健太 島根県中山間地域研究センター
ニホンジカの分布が拡大している島根県における林業被害の実態
- P072 金井 大地 酪農学園大学大学院
占冠村圃場における大型哺乳類に対する被害対策の検証
- P112 宮下 雅史 酪農学園大学大学院酪農学研究科
天然林施業地における実生へのエゾシカによる食害の影響
- P114 島田 慎吾 兵庫県立大学地域資源マネジメント研究科
糞塊調査及びアカマツ枝食害調査による兵庫県豊岡市のシカ被害対策強化事業の評価
- P129 本田 剛 山梨県総合農業技術センター
被害を減らすための捕獲は本当に里山で行うべきか-農業共済データからの推論-
- P150 野澤 秀倫 岐阜大学大学院連合農学研究科
シカと鉄道の事故はいつ発生する？
- P164 鈴木 千鶴 弘前大学大学院農学生命科学研究科
カメラトラップ法による青森県弘前市におけるアライグマの利用環境の調査

<外来種>

- P015 東谷 一熙 筑波大学理工情報生命学術院
伊豆諸島の導入2島（三宅島、利島）における国内外来種ニホンイタチ *Mustela itatsi* の食性の比較
- P019 中島 卓也 株式会社 構研エンジニアリング
北海道鷹栖町におけるアライグマ対策のための捕獲の効果と課題
- P032 吉村 真由 株式会社 島嶼生物研究所
島嶼からの外来イタチ根絶に向けた取組
- P039 後藤 優介ミュージアムパーク茨城県自然博物館
茨城県に侵入したキョン。その現状について。
- P066 横山 寛明 富山大学大学院理工学研究科
魚釣島の正規化植生指数（NDVI）による植生変化の追跡と環境 DNA による固有種生息状況把握に向けてのモデル島嶼での採水調査
- P069 山田 文雄 沖縄大学
奄美琉球世界自然遺産地域における高校生と高齢者のペット飼養の実態・意識の比較
- P122 野瀬 紹未 北海道大学大学院
いかにメスを数多く選択的に捕獲するか？-御蔵島の野生化ネコ対策における実証と実践-
- P131 伊澤 雅子 北九州市立自然史・歴史博物館
長崎県対馬のツシマヤマネコ生息地におけるイエネコの食性
- P162 石井 秀空 兵庫県立大学大学院環境人間学研究科

景観構造とため池の特徴が外来哺乳類（ヌートリア・アライグマ）の利用
状況に与える影響

<その他>

- P001 日本哺乳類学会 英文誌編集委員会
学術雑誌をめぐる激動の時代の中の Mammal Study の方向性
- P078 安藤 日菜子 岐阜大学大学院
価格から見る近代日本の毛皮動物と毛皮産業史
- P089 樋口 尚子 NPO 生物多様性研究所あーすわーむ
メスの第二次性徴をもつオスのニホンジカ：一例報告
- P117 金山 俊作 野生鳥獣研究所 けものら
民間の解剖実習施設の取組事例について
- P153 梅木 佳代 北海道大学
研究史・飼育史にみる明治期から昭和初期にかけての日本在来オオカミを
めぐる議論の状況